MITSUBISHI

三菱ダクト用換気扇〈低騒音・インテリアタイプ〉

居間・事務所・店舗用
取付説明書

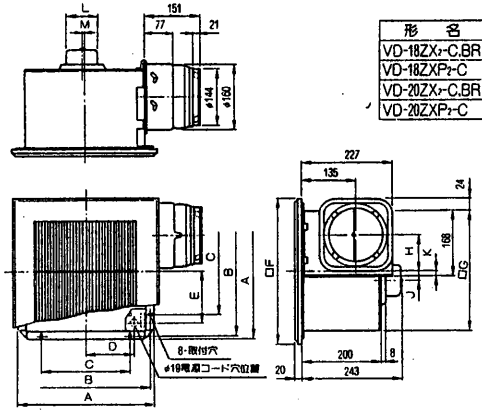
販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に必ず、この取付説明書をお読みください。
取付工事はお買い求めの販売店、または専門の工事店が実施してください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

■この製品には、システム部材または、市販品の埋込スイッチが必要です。
■接続ダクトはφ150(6番管)の塩化ビニール管、アルミスパイラルダクト、鋼板管のいずれかをご用意ください。

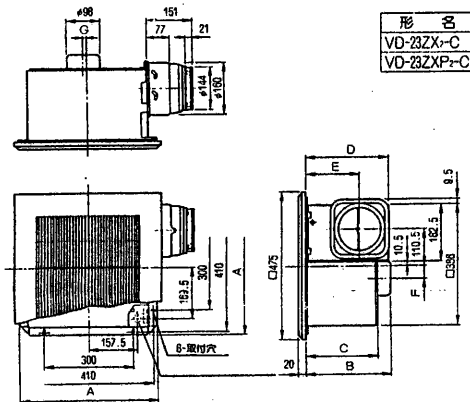
1.外形寸法図



単位(mm)

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	重量(kg)
VD-18ZX2-C,BR	345	332	200	118	130	380	307	85.5	23	14.5	83	2	6.1
VD-18ZXP2-C	308	292	230	99.5	111.5	335	270	67	15	33	83	1	5.5
VD-20ZX2-C,BR	345	332	200	118	130	380	307	85.5	23	14.5	83	2	6.5
VD-20ZXP2-C	345	332	200	118	130	380	307	85.5	23	14.5	98	2	7.0

グリルC……クール調格子タイプ
BR……ブラウン調格子タイプ



単位(mm)

形名	A	B	C	D	E	F	G	重量(kg)
VD-23ZX2-C	424	232	200	227	135	26.5	2.5	9.4
VD-23ZXP2-C	438	278	230	253.5	161.5	37.5	4	9.6

グリル……クール調格子タイプ

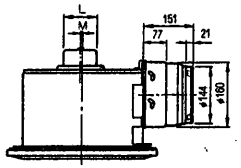
※天井板が厚く天井板にグリルが密着しないときに使用してください。

付属部品

木ネジ……9本

仮固定金具……1個

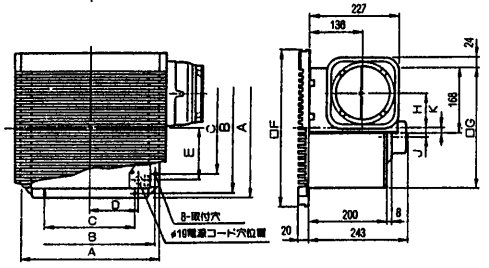
調整金具……2個



単位(mm)

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	重量(kg)
VD-18ZX2-G	345	332	200	118	130	380	307	85	2.5	14.5	83	2	6.1
VD-18ZXP2-G	308	292	230	99.5	111.5	33	270	6	17	33	83	1	5.5
VD-20ZX2-G	345	332	200	118	130	380	307	85	2.5	14.5	83	2	5.5
VD-20ZXP2-G	345	332	200	118	130	380	307	85	2.5	14.5	98	2	7.0

グリル……白木調格子タイプ



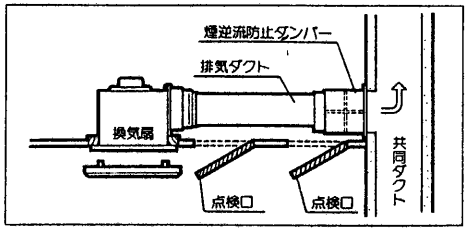
2.システム部材

(形名など詳細についてはカタログを参照してください。)

天吊金具、天吊脱着枠、防火ダンパー、煙逆流防止ダンパー、ベントキャップ
ウエザーカバー、丸形フード、深形フード、パイプ接続部材、ジャバラ、埋込スイッチ

3.必ずお守りください

換気扇の取付けには下記のような規制がありますのであらかじめご確認ください。

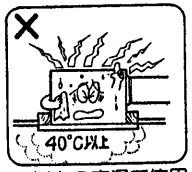


- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割りを果たすものを使用しなくてはならないよう義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、システム部材の煙逆流防止ダンパーを取付けて点検口を必ず設けてください。
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属張りの木造物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクト、換気扇及びベントキャップなどの金属部分とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取付けてください。
(電気設備技術基準による)
- ジャバラの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。

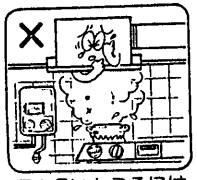
3.必ずお守りください^{つづき}

取付場所・取付けについて下記の事項をお守りください。

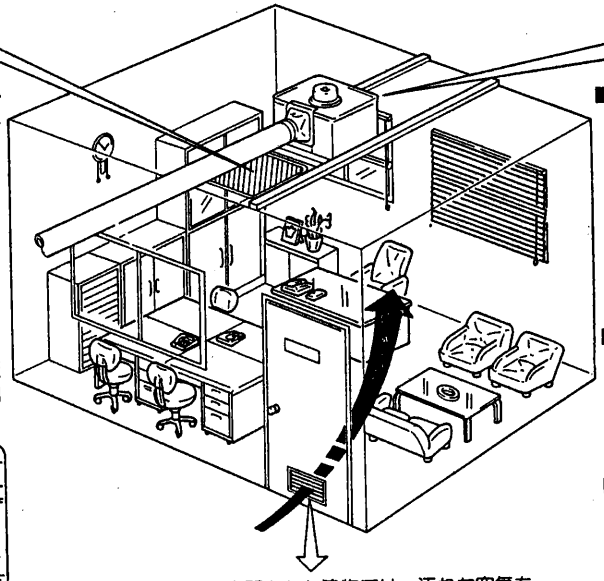
■ダクト接続部が点検できる保守点検口を設けてください。



■40℃以上の高温で使用されますと、製品の変形やモータ焼損の原因になります。

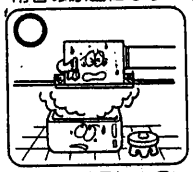


■油煙の多いところには取付けないでください。グリル羽根の破損の原因になります。



■密閉された建物では、汚れた空気を排出するとき、新鮮な空気の入るところが必要です。換気扇の反対側に空気取入口を設けてください。

■取付けが不十分ですと危険です。また振動・異常音の原因になります。



■浴室など湿気の多いところで使用されますと、湿気で感電や故障の原因になります。

■天井材は共鳴しにくい石こうボード・吸音板・繊維板などをご使用ください。

■配線工事は専門の工事店へご依頼ください。

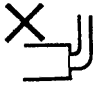
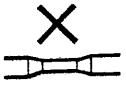
■取付時、板金部品の端面で手を滑らせると手が切れる場合がありますので手袋の着用をおすすめします。

ダクト工事について下記の事項をお守りください。

■排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の傾斜をつけてください。

■排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ(システム部材)または、雨水などの浸入を防ぐためのウェザーカバー(システム部材)などを取付けることをおすすめします。

■次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。

●極端な曲げ(90°以上曲げないでください。)	●多数の曲げ(曲げ数が多くなれば風量低下します。)	●吐出口のすぐそばでの曲げ	●接続ダクト径を極端に小さくする(しぼり。)
			

4.取付方法^(本体の図はVD-18ZX₂-Cを示します。)

1．取付位置・壁排気穴位置を決めます。

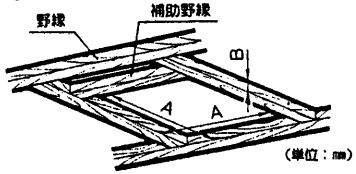
2．換気扇本体を取付けます。

■本体の取付けは野縁に固定する方法とシステム部材の天吊金具、または天吊脱着枠を使用して固定する方法があります。

野縁に取付ける場合

野縁の強度が十分でない場合は天吊金具を使用して取付ける場合の取付方法と併用してください。

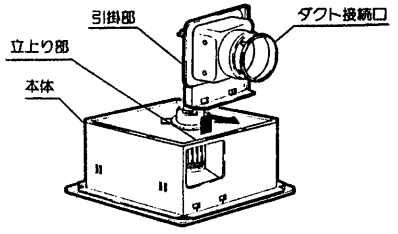
(1)内寸が下表(A寸法)となるように天井の野縁と補助野縁で取付枠を組んでください。なお野縁はB寸法以下のものを使用してください。仮固定金具が取付かない場合があります。



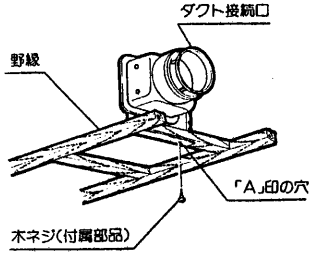
(単位：mm)

形名	A寸法	B寸法
VD-18ZXP₇-C,G	280	35
VD-18ZX₇-C,BR,G VD-20ZX₇-C,BR,G VD-20ZXP₇-C,G	315	35
VD-23ZX₉-C VD-23ZXP₇-C	395	45

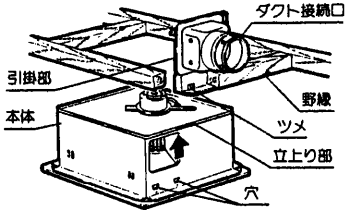
(2)ダクト接続口を上へ引抜いて外してください。



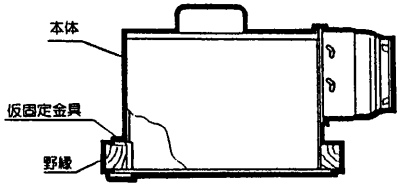
(3)ダクト接続口を壁排気穴に向くようにして野縁の角の直角に合わせてすき間がないように付属の木ネジ(1本)で仮固定します。(「A」の印の穴を使用します。)



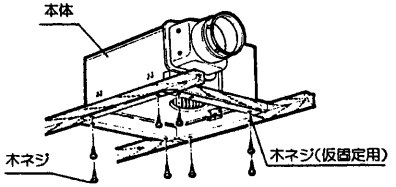
(4)本体を野縁にそって差込み、本体の穴とダクト接続口の内側のツメ及び、本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまり込むように本体とダクト接続口を接続します。



(5)付属の仮固定金具を本体の角穴に差込み、仮固定金具を野縁に引掛けて本体を固定します。



(6)本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ(8本)で本体をすき間のないようしっかり固定してください。
(すき間がありますと風漏れの原因になります。)



(7)本体を固定後、仮固定金具を外してください。

(8)ダクト接続口を仮固定している木ネジ(1本)を締付けてください。

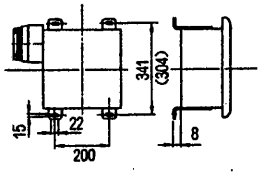
4.取付方法つづき

天吊金具を使用する場合

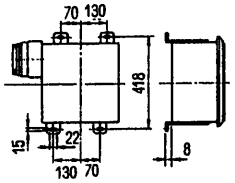
システム部材の取付説明書を参照してください。

(1)下図を参照してあらかじめ市販のアンカーボルト(M8)を埋込みます。

VD-18・20タイプ

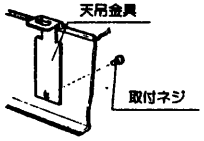


VD-23タイプ

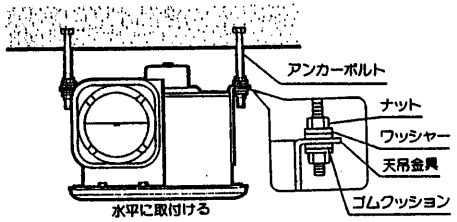


(　)寸法はVD-18ZXP2-C, -Gを示す。

(2)システム部材の天吊金具(P-08TK)を本体に引掛けて取付ネジで固定します。



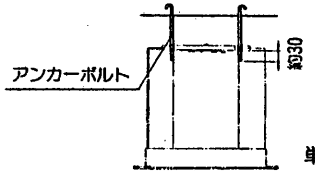
(3)本体が水平になるよう、天吊金具をアンカーボルトに取付け、市販のワッシャー・ナットにて確実に固定します。



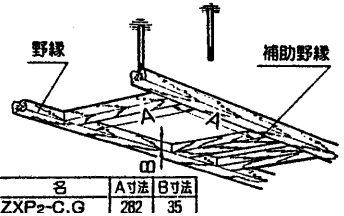
天吊脱着枠を使用する場合

システム部材の取付説明書を参照してください。

(1)システム部材の取付説明書を参照して天吊脱着枠を組立て、アンカーボルトを埋込みます。

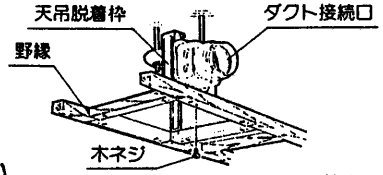


(2)内寸が下表(A寸法)となるように天井の野縁と補助野縁で取付枠を組んでください。なお野縁はB寸法以下のものを使用してください。ダクト接続口が取付かない場合があります。

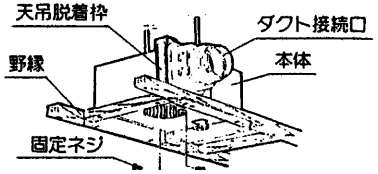


形　名	A寸法	B寸法
VD-18ZXP2-C.G	282	35

(4)本体よりダクト接続口を外し、野縁の角に直角に合わせてすき間がないように付属の木ネジ(1本)で仮固定します。



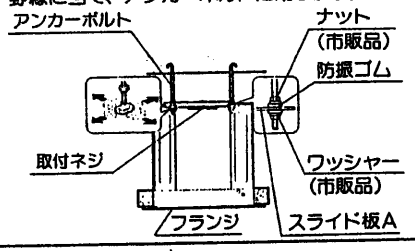
(5)本体を野縁及び天吊脱着枠にそって差込み、本体の穴とダクト接続口の内側のツメ及び、本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまり込むように本体とダクト接続口を接続します。その後、天吊脱着枠に付属の固定ネジで内側より本体と天吊脱着枠を固定します。

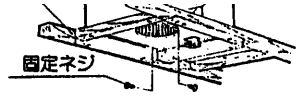


形　名	A寸法	B寸法
VD-18ZXP2-C.G	282	35
VD-18ZX2-C.BR.G VD-20ZX2-C.BR.G VD-20ZXP2-C.G	317	35
VD-23ZX2-C VD-23ZXP2-C	400	40

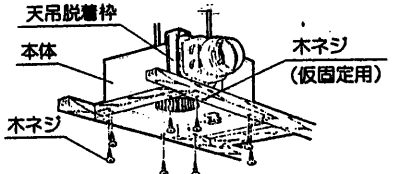
単位(mm)

(3)排気方向に注意して、図のようにフランジを野縁に当て、アンカーボルトに吊します。





(6)本体がダクト接続口及び天吊脱着枠と密着していることを確認してから、付属の木ネジ(8本)で本体をすき間がないようにしっかり固定してください。(すき間がありますと風漏れの原因になります。)



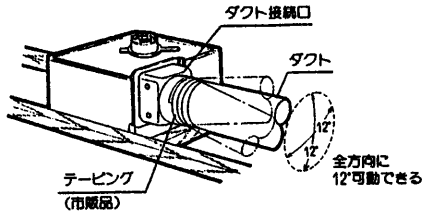
(7)ダクト接続口を仮固定している木ネジ(1本)を締付けてください。

3．本体から壁排気穴までダクトで接続します。

(1)ダクトをダクト接続口にしっかり差込んで風漏れのないようテーピングしてください。

- 全方向に12°可動できる構造になっていますので差込みにくい場合は可動させてください。

(2)ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊してください。



4．電気工事を行います。

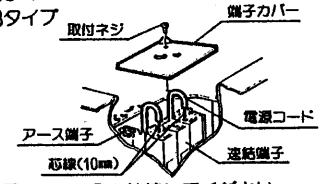
- 専門の電気工事店へ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行ってください。

(1)本体上部のゴムブッシュより屋内配線(VVFケーブルφ1.6、φ2)を通します。

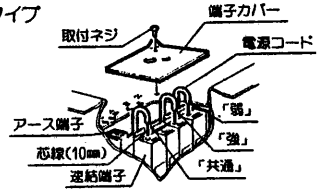
(2)端子カバーのネジ1本を外して端子カバーを開け、速結端子に皮ムキした芯線を確実に奥まで差込みます。(結線図参照)

(3)端子カバーを元通り取付けます。

18タイプ

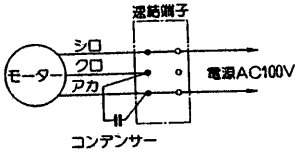


20・23タイプ

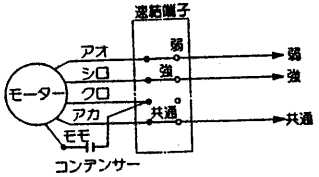


■結線図 破線部分を結線してください。

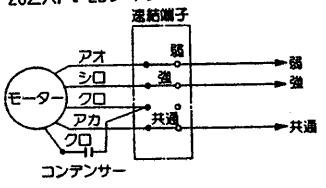
18タイプ



20ZX2タイプ

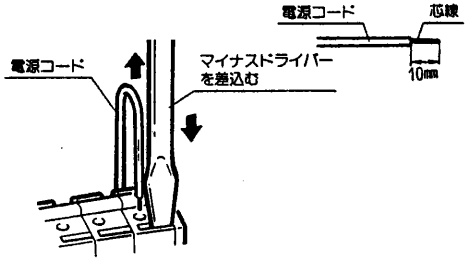


20ZXP2・23タイプ



ご注意

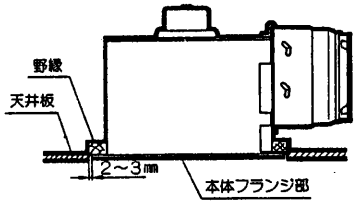
- 強弱切換タイプは結線を間違えますと、モーターが焼損する恐れがあります。十分確認のうえ結線してください。また1個のスイッチで複数台運転はできません。モーター焼損の原因になります。
- より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取付けてから速結端子に確実に差込んでください。
- 電線被ふくは10㎜むいてください。本体にあるストリップゲージに合わせて、皮むきしますと便利です。
- 電源コードは、本体付近で約 150 ㎜たるませてください。
- 電源コードを速結端子より外す場合は、マイナスドライバーで速結端子の外しボタン(赤色)を押しながら電源コードを引っぱって外してください。



5．天井板を張ってください。

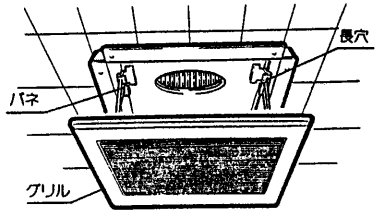
ご注意

- 本体のフランジ部分と天井板とは必ず2～3㎜のすき間をあけてください。



6．グリルを取付けます。

- グリルには、2つのバネが付いていますので両手でバネをつかみ本体内部の長穴に差込み、手を放し軽くグリルを押せば取付きます。



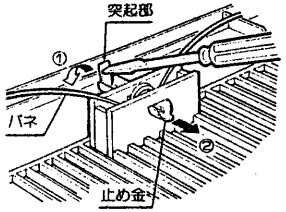
グリル形状はVD-18ZX₂-C,BRを示す。

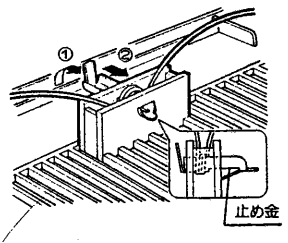
グリルの方向が変更ができます

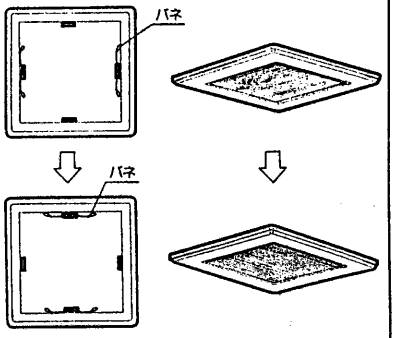
バネの取付位置を変えることでグリルの方向が変わります。

(1)バネを固定している止め金の突起部をマイナスドライバーなどでたおして、止め金を引き抜きますとバネが外れます。

(2)取外したバネの位置を変えて止め金の突起部を元通り起こして、差込みます。







ご注意

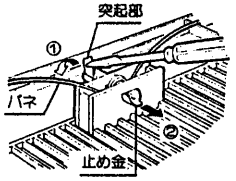
- 止め金の突起部はゆっくりていねいに折り曲げてください、急に強く行いますと、ちぎれることがあります。また何度も繰返しますとちぎれることがあります。

天井板の厚さに応じたバネ位置の調整

※天井板が厚く天井板にグリルが密着しないときに調整してください。

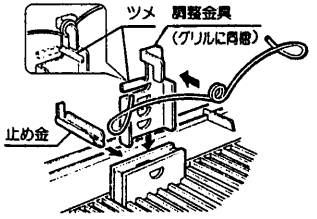
天井板が厚い場合は、付属の調整金具を使用してバネの位置を変更することにより35㎜の調整幅でグリルを本体に固定することができます。

(1)バネを固定している止め金の突起部をマイナスドライバーなどでたおして、止め金を引き抜きますとバネが外れます。



(2)調整金具を差込み、厚みに応じて35㎜の調整幅で元通り、決めた位置にバネと共に止め金を差込み固定します。

(3)バネが抜けないように、調整金具のツメを90°曲げます。



ご注意

- 止め金の突起部はゆっくりていねいに折曲げてください。急に強く行いますと、ちぎれることがあります。また何度も繰返しますとちぎれることがあります。
- 左右のバネは同じ調整寸法にしてください。

5.試運転

取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認して正常な運転ができるか、また本体の取付けが確実で振動・異常音がないかを確認してください。

三菱電機株式会社
〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)

9109D㊥R
588H60271